## グローバル化と公共性研究会





歴史社会・連挙・被党権 国家の 「社会的なもの」は政策実践において いかなる意義をもってきたのか。この理念の来歴から、ドイツ社会国家の成立過程を明らかにする。

日時: 2022年10月28日(金) 14:00~16:30

(最大でも17時には終了)

お申込はこちら↓



報告者: 坂井晃介 (東京大学大学院総合文化研究科・助教)

報告タイトル:「福祉国家史研究のシステム理論的アプローチー 意味論分析の方法と意義をめぐってー」

問い合わせ先: 加藤雅俊(立命館大学産業社会学部・准教授)

mkato@fc.ritsumei.ac.jp

開催形態:Zoomミーティング(事前登録制)

参加をご希望の方は、10月26日(水)の17時までに、以下のリンク先もしくは右上のQRコードからお申し込みください。前日の13時過ぎまでに、当日のリンク先を連絡します。

https://forms.office.com/r/iuJWGneSGp

## 【主催

- ・立命館大学人文科学研究所重点プロジェクト「グローバル化と地域の多様性(diversity)」
- ・科学研究費・基盤研究(B)「「家族主義レジーム」の変容に関する国際比較研究-家族政策の多様化とその因果的背景」(研究代表者:加藤雅俊)